

令和4年度 京都丹波の教育推進プラン



京都府南丹教育局

京都丹波の教育推進プラン ～京都府教育振興プランの実現に向けて～

学力の向上

思考力・判断力・表現力の育成など、各教科の言語活動の充実等を通して、豊かな学力をはぐくみます。



◆なんたん学びモデル推進校

「質の高い授業づくり～5つの提言～」に基づいた授業改善を推進し、自校・園の課題解決のための研究に取り組みます。

◆学力向上担当者会議と授業実践講座

管内の教育課題に応じ、課題解決に向けた方策を優れた実践から学ぶことを通じて、児童生徒の学力向上をめざします。

◆子どもの育ちをつなぐ研修会

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続について理解を深め、保幼小連携を推進します。

★教科担任制を見据えた系統的な学びの推進事業

授業の質の向上、小中の円滑な接続、多面的な児童理解、業務改善等につなげる教科担任制の在り方を構築します。

★絆の作り手育成プログラム研究校

「課題解決型学習」の手法を利用し、地域の文化財にかかわる課題をテーマに、解決策を考え実行することをめざします。

★次世代型学力・学習状況調査実証研究(IRT・CBT)

学力の伸びと非認知能力の変容が継続的に把握できる調査方法をCBTにより構築し、授業改善に生かすための方策を研究します。

★未来の担い手育成プログラム研究校(第2期)

変化の激しい社会で必要となる資質・能力を身に付けるため、企業と連携して課題解決型学習に基づく授業改善を図ります。

★未来を拓く学校づくり推進事業(第2期)

幼児教育から中学校教育まで一貫して、社会の創り手に必要な「認知能力」と「非認知能力」の育成を図ります。

★小論文グランプリ

思考力や表現力、読解力の向上をめざします。

心の教育の充実

道徳性の育成や規範意識、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくみます。



◆管内人権教育担当者会議

小・中学校、府立学校の人権教育の担当者が緊密に連携し、人権意識をさらに高めるための研修を推進します。

◆南丹地区生徒指導連絡協議会

小・中学校、府立学校等の担当者が課題の共有と取組の交流を行い、生徒指導の充実を図ります。

◆管内特別支援教育充実研修会

一人一人の教育的ニーズに応じた効果的な支援について学び、特別支援教育の充実と推進を図ります。

◆道徳教育の充実に向けた支援

各校の取組や課題を共有し、「特別の教科 道徳」における多様な効果的な指導方法への改善と評価の充実を支援します。

◆読書活動の充実

読書を通じて言語力、表現力や創造力を社会総がかりで育成するため、学校図書館と公立図書館が連携した取組を進めます。

★キャリア・パスポートの有効活用

従来から行っていた目標の設定、実行、振り返り、改善を系統的に実施し、自己肯定感を高め、自らの進路を切り拓く力の育成に活用していきます。

★スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーの全校派遣

全小・中学校にスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーを派遣し、児童生徒の基本的な生活習慣の確立や教育・福祉が連携した支援体制づくりの取組を推進します。

★豊かな学び・文化体験活動推進事業

大学と連携した体験授業や地域の伝統文化・古典に関する体験活動を実施します。

元気な子どもの育成

子どもたちの安心・安全や健康的な生活習慣の確立とともに、たくましく健やかな身体をはぐくみます。



★薬物乱用根絶に向けた取組

「薬物乱用防止教室」の全小・中学校での早期実施を進めるなど薬物乱用の根絶に向けた一層の取組を進めます。

★食に関する指導充実事業

「食に関する指導計画」に基づき、教科横断的な指導や家庭・地域社会との連携などの研究を行い、食育を推進します。

★体育指導力向上指定校

ICTを活用した児童生徒への効果的な指導方法の開発に向けた実践研究を推進します。

★京都式「部活動サポート」事業(部活動指導員)

中学校において、教員に代わり部活動の指導・引中・運営管理等を行うことにより、指導体制の充実を図ります。

★京都式「部活動サポート」事業(外部指導者)

地域人材と顧問等が適切に連携・協力し、運動部活動の活性化と適切な運動部活動指導における校内体制の構築を図ります。

★中学校等運動部支援事業

中学校運動部等を重点的に強化する一貫した指導を進め、団体や高校総体で活躍する選手を輩出・育成します。

★地域一体部活動推進事業

地域で部活動を担うための人材や運営団体の確保などの課題に関する実践研究を行います。

人材育成

子どもたちの豊かな成長を支える教職員等の資質能力や指導力の向上など、教職員の人の人材育成を図ります。



◆京都丹波の人材育成プログラム

各コースにおいて、職種や資質能力に応じたセミナー等を実施し、知識や技能の習得をした高い専門性を備えた人材育成を図ります。

I ミドルリーダー育成コース

教職経験7年～15年(指標ステージ2)の教員を対象としたセミナー等を開催し、若手教員の模範となるリーダーを育成します。

II 特別支援教育スキルアップコース

若手の通常学級担任を対象として、特別支援教育に必要な知識と技能を習得し、特別支援教育を推進する教員を育成します。

III 講師対象教師力向上コース

講師を対象に、コンプライアンスの意識や授業力向上等の教職員として必要な知識や技能を習得し、資質能力の向上を図ります。

IV 事務職員対象学校運営力向上コース

事務職員を対象に、共同学校事務室や実務に係る研修を実施し、学校運営へ効果的に参画するための知識と技能の習得をめざします。

◆京都丹波の教育推進表彰

優れた教育実践を行っている教員や子どもの学びと育ちを支え続ける学校づくりに向けて、優れた実践を行っているチームを表彰します。

◆京都丹波人材育成アドバイザー

メンターシップ等により、若手教員の資質能力の向上を図り、教師力継承の取組を行います。

◆京都丹波特別支援教育アドバイザー

各校の特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任、道徳指導教員等の資質向上、育成を図ります。

◆なんたんオンラインコミュニティ

管内教育の活性化につなげるために、オンラインによる学校間の情報共有の場を提供し、自発的なコミュニケーションを支援します。

★ICT利活用 新しい授業づくりリーダー育成研修

ICTを活用した協働型の新しい授業が実践できる人材及びICTの利活用を先導的に進めるリーダーを育成します。

★南丹まなびサポート事業(学習支援ボランティア)

教職をめざしている学生を管内の小・中学校へ派遣し、児童生徒の学習支援等を行います。

幼小中高大連携の充実

学校種間の連携を通して子どもたちの学びの連続性を充実させるとともに、各校の教育活動を活性化させます。



●南丹地区幼稚園・小学校・中学校・高等学校等連絡協議会

幼稚園、小・中学校、高校及び特別支援学校が幼児・児童・生徒の発達と学びの連続性を図り、自らの進路を主体的に切り拓く資質・能力の育成や、運動競技力の充実などに向けた連携を推進します。

・専門部会

(中高連絡、競技力、特別支援教育、人権教育、芸術文化、幼小連絡)
学校種間の連携・交流による指導力向上と学校種間の円滑な接続をめざします。

・ブロック会議(亀岡・北桑田・園部・須知)

各ブロックの課題に応じて、「育てたい子どもの姿」を共有し、学校間の連携を図ります。

●京都丹波美術工芸教育展

幼稚園、小・中学校、高校、特別支援学校、京都伝統工芸大学校等の作品を展示し、美術工芸の推進と次世代文化の担い手の育成をめざします。

令和4年10月29日(土)・30日(日) 京都伝統工芸大学校(予定)



●京都丹波キッズふれあい駅伝

管内の小中学校が参加し、駅伝を通して小学生の体力・運動能力の向上や交流機会の充実をめざします。

令和4年11月19日(土)
京都府立丹波自然運動公園(予定)



◆南丹パートナーズスクール事業

・美術工芸

小学校と高校が連携し、伝統工芸や美術を児童に教えることを通じて美術工芸教育の推進を図ります。



・環境・食育

中学校・高校が連携し、地域の教育資源を生かした取組を通して明日の京都丹波を担う人づくりを推進します。

・外国語

小学校と高校が連携し、児童の外国語によるコミュニケーション能力の素地を養います。



社会総がかりで子どもをはぐくむ

子育て支援ネットワークの拡充

子どもをともにはぐくみ、ともに育ちあう地域社会の構築をめざします。



◆南丹地区子育て支援協議会(学校・地域・福祉・子育て支援団体等)

子育て家庭の抱える課題解決に向けて講演会や実践交流等を行い、子育て家庭を見守るためのネットワークの拡充をめざします。

★人権教育行政担当者等研究協議会

人権教育行政担当者の研修や情報交換等の取組を通して、学校や市町と連携を図りながら人権教育・人権啓発の取組の充実をめざします。

◆なんたん子育てフォーラム(京都府PTA指導者研修会 南丹大会)

社会の変化に対応したPTAの役割や活動の在り方について研修を深めるとともに、各関係者が連携・協働し、社会総がかりで子どもを守り育てる気運の醸成とネットワークの拡充を図ります。

★南丹地区社会教育委員連絡協議会

社会教育委員の研修や情報交換等の取組を通して、管内における生涯学習の一層の促進を図ります。

★子育てサポーターズフォーラム

地域学校協働活動について理解を深め、地域サポーターの育成や指導力の向上をめざします。

★視覚障害者社会教育指導者研修会

指導者の障害についての正しい理解と認識を深める取組を支援するとともに、障害のある人の社会参加を進めます。

京都丹波の教育

★子どもの認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ学校
 ★子どもをともにはぐくみ、ともに育ちあう地域社会

学校

学びの連続性を大切にした教育の推進

◆ 学力の向上

- 授業実践講座や計画訪問による授業力の向上
- 「質の高い授業づくり」～5つの提言～を活かした授業づくり
- 生徒指導の三機能(自己決定・自己存在感・共感的人間関係)を活かした授業実践
- 学習指導要領に基づいた適切な評価
- ICTを活用した授業の充実
- プログラミング教育の推進
- 幼児教育と学校教育の円滑な接続

ICTを活用した教育の推進

◆ 心の教育の充実

- 人権意識・規範意識を高め自主的に行動できる児童生徒の育成
- 生徒指導上の課題解決に向けた方策の確立及び組織的な取組
- 子ども一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実
- 「考え、議論する道徳」の充実
- 育ちのステージをつなぐキャリア・パスポートの有効活用
- 豊かな心をはぐくむ読書活動等
- 豊かな人間性をはぐくむ伝統文化の体験活動等の推進

◆ 元気な子どもの育成

- スポーツを通じた健全な心と身体の育成
- 家庭・地域社会と連携した食育の推進
- 健康で安全な生活習慣の確立と危機管理意識の向上
- 京都式「部活動サポート」事業の充実

◆ 教師力の向上

- 「京都府教職員等の資質能力の向上に関する指標」を目安とする資質能力の向上
- 教職員の人権意識の向上
- 「単位制履修制度」の活用
- 校内研修(OJT)の充実
- ハンドブック・手引き等の有効活用

◆ 生き生きと子どもに向き合う環境づくり

- 学校業務の更なる改善の推進と「働き方改革」を意識した働き方の推進
- 学校組織マネジメントの更なる向上
- 学校・家庭・地域の役割分担と連携・協働
- ユニバーサルデザインを意識した環境

家庭

家庭の教育力の向上

◆ 家庭の教育力の向上

- 子育て家庭の支援と課題に即した研修内容の充実
- PTAの役割や活動についての研修の充実及び指導者の育成
- PTAの活動の充実に向けた支援
 - * 親のための応援塾
 - * 声かけ(あいさつ)見守り運動等
- 地域・福祉・NPO法人等と連携した子どもの居場所づくりの支援
- 学校と連携した食育の推進

社会に開かれた教育課程の実現

「コミュニティ・スクール」と
 「地域学校協働活動」の一体的推進

人がつながる地域づくり

◆ 地域社会の教育力の向上

- 学校のニーズに合った地域サポーターの養成
 - * 子育て支援・学校支援等
- 地域学校協働活動の推進と充実
- 子どものための地域連携事業における学習支援や体験活動等の支援

◆ 人権教育の推進

- 学校や市町と連携を図りながら、人権教育や人権啓発を推進する指導者の養成・研修への支援
- 「人権教育指導者ハンドブック(社会教育編)」を活用した研修の推進
- 障害のある人の自立と社会参加の促進や社会教育指導者の研修への支援

◆ 生涯学習の振興

- 大学・行政機関・社会教育関係団体・NPO法人等との連携・協働
- 地域コミュニティの活性化に向けた社会教育委員の研修の支援と充実

基本的人権の尊重

共生社会の実現



自己肯定感



包み込まれているという感覚

地域社会

「学ぶことの意義」を見いだす学校教育

一人一人生きる目的が違いうように、一人一人学ぶことの意義も違います。自分にとっての「学ぶことの意義」を見いだせるような学校教育にしていきたいという思いが込められています。

「認知能力」と「非認知能力」を一体的にはくくむ

非認知能力は認知能力の土台となり、認知能力と互いに絡み合うように伸びていきます。学びの中で深く考えたり工夫したりしたことによって得られた達成感や充実感は、非認知能力を強化します。

また、「やってみたい」「もう一度挑戦しよう」など子どもの主体性を引き出すためには、「環境構成」や「仕掛け」「カリキュラム・デザイン」が重要な要素となります。

児童生徒の様子を「積極的につかむ」

児童生徒の姿をどれだけ敏感に見取ることができるかは、教師に求められる重要な資質であるといえます。あわせて、集団の構造や状況を理解することも大切です。

感度の高い人権感覚のアンテナを持ち、目に見える姿や事象に加え、その背景にまで思いをめぐらせる深い洞察で子どもたちを積極的に見取ることが重要です。

「質の高い授業づくり」～5つの提言～

- 提言1 主体的な学びを引き出す単元構成 「目標に応じた単元の工夫」「教材研究と指導内容の系統性」
- 提言2 学習意欲を高める授業 「めあての明確化」「学習課題の工夫」
- 提言3 児童生徒が主体者となる授業（心が動く学び） 「富語活動・多様な学習形態の充実」「問題解決的な学習」「思考のある学び」
- 提言4 自己の学びを実感できる授業 「深い学びと振り返りの充実」「指導と評価の一体化」
- 提言5 目的意識のある家庭学習 「授業とつなぐ内容の工夫」



幼児教育 学びの芽生え

子どもの「主体性」を引き出す「環境構成」の工夫

環境を通して行う教育（物的な環境・教師のかかわり）



学校教育 学びの自覚 「子どもは学びの主体者」

みんなが主体者となる学び 「教師は学びを支える主体者」

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり 生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現



学習の基盤となる資質・能力

- 言語能力 (対話 聴く 読書 表現)
- 情報活用能力 (選択 判断 発信 共有 モラル スキル)
- 問題発見・解決能力 (なぜ? もっと! 試行錯誤 納得解 さらに広げて)

学びの本質を見極める

～児童生徒が「教わる」授業 から「学びとる」授業への転換～

児童生徒の「主体性」を引き出す「単元構成」の工夫

- 児童生徒のゴールの姿を明確にする
 - 児童生徒に身に付けさせたい力が何かを明確に!
 - 「ねらい」「児童生徒の実態」「付けさせたい力」に応じた教材の取り扱い
- 何をどのように学ぶことで学びが深まるかイメージする
 - 問題解決的な学習 見通し・振り返り 課題・発問 (問いを引き出す) 学習内容・活動の焦点化
 - 「やりたい!」「不思議?」「なぜ?」「なるほど!」「伝えたい!」等、児童生徒の心が動く学び となる工夫を!
 - 授業のどこにウェイトを置くか
- 児童生徒の学びの姿をどのように見取るか計画する
 - 児童生徒の学びが見える学習展開 評価場面の焦点化

主体的に遊ぶ様々な場面の中で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)が育っています。

*「10の姿」は幼児期の終わりまでに完成するというものではありません。小学校以降も育ち続けていきます。それぞれの成長の時期に合った毎日の指導の積み重ねがその姿につながっていきます。(詳しくは幼稚園教育要領・学習指導要領等でご確認ください)

10の姿

幼児期に総合的にはくくまれた資質・能力や子どもたちの成長を各教科の特性に応じた学びにつなげていく



校種間連携の充実

管内の保育園・幼稚園・こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校がともに育てたい資質・能力を共有し、各校が具体的な取組や効果的な連携を進める。【南丹地区幼稚園・小学校・中学校・高等学校等連絡協議会】【子どもの育ちをつなぐ研修会】【各ブロック研修会】等



めまぐるしく変化していく社会において、変化を動機とするうえで、主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人 (第2期京前教育振興プラン)

南丹教育局管内の学校等

【京丹波町】

- ⑤竹野小学校
- ⑥丹波ひかり小学校
- ⑦下山小学校
- ⑧瑞穂小学校
- ⑨和知小学校
- ⑩蒲生野中学校
- ⑪瑞穂中学校
- ⑫和知中学校
- ⑬たんばこども園
- ⑭みずほこども園
- ⑮わちこども園

【南丹市】

- ⑬園部小学校
- ⑭園部第二小学校
- ⑮八木西小学校
- ⑯八木東小学校
- ⑰殿田小学校
- ⑱胡麻郷小学校
- ⑲美山小学校
- ⑳園部中学校
- ㉑八木中学校
- ㉒殿田中学校
- ㉓美山中学校
- ㉔桜が丘中学校
- ㉕園部幼稚園
- ㉖八木中央幼稚園

【亀岡市】

- ①亀岡小学校
- ②安詳小学校
- ③東別院小学校
- ④西別院小学校
- ⑤曾我部小学校
- ⑥古川小学校
- ⑦藤田野小学校
- ⑧本梅小学校
- ⑨畑野小学校
- ⑩青野小学校
- ⑪大井小学校
- ⑫千代川小学校
- ⑬保津小学校
- ⑭つつじヶ丘小学校
- ⑮城西小学校
- ⑯薛徳小学校
- ⑰つつじヶ丘小学校
- ⑱亀岡中学校
- ⑲別院中学校
- ㉑南桑中学校
- ㉒青親中学校
- ㉓東輝中学校
- ㉔大成中学校
- ㉕薛徳中学校
- ㉖亀岡川東学園
- ㉗亀岡市立幼稚園

【府立学校】

- A 北桑田高校(京都市右京区)
- B 北桑田高校美山分校
- C 亀岡高校
- D 南丹高校
- E 園部高校
- F 園部高校附属中学校
- G 農芸高校
- H 須知高校
- I 丹波支援学校
- J 丹波支援学校亀岡分校

【大学等】

- ㉘ 京都先端科学大学
- ㉙ 京都医療科学大学
- ㉚ 京都建築大学校
- ㉛ 京都伝統工芸大学校
- ㉜ 京都美術工芸大学
- ㉝ 明治国際医療大学
- ㉞ 京都府立林業大学校



京都府南丹教育局

〒622-0041

京都府南丹市園部町小山東町藤ノ木 21

電話 0771-62-0304 (代表)

FAX 0771-62-1187

南丹教育局ホームページ

<http://www.kyoto-be.ne.jp/nantan-kyo/>

南丹教育局

検索

